

おはよう、H

毎朝起きると、真っ先にママとパパを探す。私のところに駆け寄り、「パパ、だあーいすきー」とハグしてくれる。

ごはんが大好きで、朝から大きめのお茶碗に、二杯しっかり食べるのもいつものこと。

洋服や持ち物選びにもこだわりがある。大好きな「ぶどう」色。少し前までは黄色だったのに、まあ、いいか。

髪を結んで、お気に入りの星柄の入ったスニーカーを履いたら、いこいの家に出発だ。

車での登園時間は、Hのお気に入りの時間。途中で見かけるお寿司屋さん(回るほう)。ママと行ったことが嬉しかったようで、二カ月以上前のことなのに、まだ「ママとお寿司行ったんだー。」と繰り返す。

バスを見ても「H、バスだあーい好き!」「ママとUちゃん(妹)」と乗ったんだー、これも毎朝のこと。

「Tくん、なにしてる?」「ママは?」「Uは?」。とっても家族のことが好き。

いこいの家についたら、お部屋の前で少しモジモジする。先生が誘ってくれたら、お友達をみつけたら、ちよつと入ってかばんの整理を始める。自分でできるようになったね。

家に帰ったら、おやつを食べて、テレビを観て、晩御飯を(これまたたくさん)食べて、夜は自分のペースで誰よりも先に夢の中。

時々(いや、しょつちゅう?) 機嫌が悪くなって(理由は「好きなおもちやお兄ちゃんに取られた」から「ふりかけが思ったのと違う」ま

で様々)泣くこともあるけど、いつもはニコニコ、とっても可愛く笑っている。

生まれてから何度も病院に行き、何度も入院したけど、その都度いろんな人に助けてもらいながら、もうすぐ小学生というところまで大きくなった。ママもHのために、たくさん調べて、悩んで、ようやくわかった病名。ほんの少しだけ、報われた気がしたね。

親として、Hの世界を少しでもたくさん知りたい。そしてHのことを周りの人に少しでも知ってほしい。できないことがあること、こだわりも少し強いこと、とっても臆病でかわがりだけど、楽しいことはとっても好きで、本当はとても人懐っこいこと。

親としての願いは、一秒でもたくさん、笑顔でいてくれること。Hの笑顔は、周りにいる人を笑顔にしてくれるから。そしてH自身が、楽しい気持ちでいてくれるから。

本当は、もうちよつと色々なことが出来て欲しいと思っているのかもしれない。お兄ちゃんのようにたくさん言葉を覚えたり、計算ができるようになって欲しいという気持ちも、心の底のほうにあるのかもしれない。

でも今は、Hや、Hのお友達が、ニコニコと幸せに暮らしてくれたらいいと思う。目に見える発達だけに縛られず、その子どもの幸せが、少しでも叶えられたら。

それがこの子たちの親の仕事、そう思って今日も「おはよう、H」「パパ、だあーいすきー!」。一日が始まる。

Hさん(六歳)のお父さん